



To Club Presidents and Secretaries in DISTRICT 2790

ガバナー月信

11

2008-09

2009年5月号
発行/2009年5月1日
COPY FOR MEMBERS

教條主義は役に立たぬ

No dogmatic Rotary can be serviceable.

教條主義ロータリーは役に立たぬ。 (佐藤千壽「ポール・ハリスの言葉」より)



“Make Dreams Real”

2008—09年度
第2790地区ガバナー 崎山 征雄

皁月の空の鯉のぼりはロータリーの夢・登竜門の滝を登って竜になるのか はたまた口先大きく中身なく風に吹かれて泳いでいるのか

2月1日には毎日新聞で全面広告を打ちました。紙面には今年度の83クラブ会長の顔写真を全て載せました。千葉県にローターの存在を強くアピールした事と思います。4月には地区協議会も終了し、今は09—10年度中村丸のエンジンのウォームアップの音が聞こえてきます。08-09年度の我々は締めくくりの時、一年間の実績の確認の時、先日の地区チーム研修セミナーの挨拶で、私はこれから下山の時とお話いたしました。登頂した時の、達成感を満足感に充足するには、下界を眺めて一歩一歩足を踏みしめながら無事最後まで降り立ったその時、終わりよければすべて良しと考えたからです。

人の一生は、25歳までが人生の学びの「学生期（がくしょうき）」50歳までが社会人として家庭人としての「家住期（かじゅうき）」50過ぎたら人生を振り返り生きたいように生きる「林住期（りんじゅうき）」75歳からは自分を見つめ直して、やがて来る死を目前に自然に回帰してゆく「遊行期（ゆぎょうき）」の四つに分かれると言います。（古代インド哲学より）今我々100年を過ぎたロータリーは、どこにいるのでしょうか？老いてゆくのでしょうか？腐るのでしょうか？いえいえ違います。熟成してゆくのです。質感が限りなく高まり、まろやかに、あたかもビンテージワインの如く、自然に回帰してゆく。そう熟成するのです。

昨年は秋後半からの世界同時不況の猛烈なアゲインストの風の中、当地区は2月末現在2928人、新しいロータリーの友人を175人当地区へ迎え、

117人の仲間が退会、ご逝去され、純増58人です。12月に実施しました2790地区の現況アンケートでは過去12年間の83クラブの状況と、現在のクラブのCLPへの対応状況、長期計画の策定状況などを調査させて頂きました。結果は既に皆様に報告させて頂きましたが、12年間で会員数が減少することなく逆に若干とはいえ増えたクラブが6クラブもあり、今現在も増加傾向にあります。大幅な減少クラブもなく、確実にクラブ内にロータリーエネルギーのマグマを蓄えつつあります。奉仕活動も職業奉仕を中心にとらえ、クラブ奉仕を充実し、社会奉仕に、国際奉仕に、新世代育成に、ロータリー財団に、米山記念奨学会にしっかりと対応しています。この勢いを止めることなく、バーミンガムの国際大会まで続けましょう。

ロータリーが元気に登竜門の滝を登って竜になることが、日本の元気につながるものと信じ、目前のやるべき事をやりましょう。振り返って後悔しない、我々自身の持つポテンシャルを信じて進みましょう。

さて、今月は、ロータリーの組織運営を理解していただく意味で、ロータリーの組織機構についてお話してみたいと思います。

ロータリーという言葉は単独で使う場合には、通常、国際ロータリー（R I）という組織全体を指す言葉であり、国際ロータリー（R I）とは、クラブとロータリアンによって構成される組織で、人道的な奉仕とあらゆる職業の道徳的水準を

高め、各国との親善と世界平和の確立に貢献することを目的にした奉仕団体であることは、皆さんご承知のことと思います。そして、国際ロータリー（R I）は、世界中のR Cの連合体であり、国際ロータリー（R I）の会員はロータリークラブからなり、ロータリアンはそれぞれのクラブの会員であるという定義もご承知のことと思います。よくガバナー紹介の時に、国際ロータリークラブガバナー00と紹介される方がおりますが、国際ロータリークラブという団体はありません。

国際ロータリー（R I）の目的は、①クラブ及び地区がロータリーの綱領を推進するプログラムや活動を遂行するのを支援する②世界中でロータリーを推奨し、拡大、支援・管理する③R Iの活動を調整し、これをクラブに指導する。この3点が国際ロータリーの目的です。そして、多数の国や地域に存在するわけですから、政治的問題に対して団体行動や団体声明を発してはならないとされています。また、ロータリークラブの責務の中には、政府や世界問題、国際間の政策に影響を与えるような団体行動をとってはならず、他国の国民を攻撃するようなことをしてはいけないとされており、国際問題に関係する特定の計画に関するいかなる決議をも採択しないとされています。また、各クラブは、クラブが存在している国の法律に従うことが期待されており、自国の法律がR I組織規定と矛盾する場合には、関係クラブは必ずR I理事会に問題を提出し、助言と指導を仰がなければならないと規定されております。

また、国際ロータリー（R I）は国連と緊密な関係にあり、国連創設当時、1949年のサンフランシスコ国連憲章起草会議において29の代表団に49人のロータリアンが含まれていたということから、ユニセフ、ユネスコ、WHO、国連経済社会（Ecosoc）においてコンサルタントの地位を確保し、1993年にはEcosocは、ロータリーをトップコンサルタントとして承認し、R Iは「第1カテゴリー」の指導的な国際NGOsのひとつとなってい

るのです。

その本部は、米国イリノイ州エバンストンにあります。過去R I中央事務局と言われました。しかし、1991年からはR I世界本部と改称されました。ここには、事務総長が常勤し、職員は約500名働いています。世界に7ヶ所の事務局があり、それは、ブラジル、ヨーロッパ及びアフリカ事務局、日本、韓国、南アジア、南太平洋及びフィリピン、南アメリカ南部の7地区に事務局を置いています。この大所帯を動かすボードメンバーは、現在会員数に比例して世界各国から選出されている14人の理事（アメリカ5人、インド、スコットランド、フィンランド、台湾、オーストラリア、フランス、日本、ブラジル、メキシコ）と、会長（韓国）、会長エレクト（スコットランド）、副会長（カナダ）、会計（ベルギー）、エグゼクティブ・コミッティー・チェアー（アメリカ）を含めた総勢19人のメンバーと、それに事務総長（エド・フタ氏）が加わって20名で構成されています。昨年まで日本からも2人の理事（渡辺好政理事、小沢一彦理事）が選出されていましたが、会員減少の煽りを受けゾーンの再編が行われ、現在は小沢一彦理事1人だけになっていることは皆さんご承知の通りです。次年度は八戸南R Cの黒田正宏PDGが1人で理事を務める事になり、その次の年度は、第3ゾーンから立候補した千里R Cの近藤雅臣PDGが理事ノミネーとして決定しました。理事会のメンバーをみますと、アメリカは7名のボードメンバーがおり、エバンストンの職員もほとんどがアメリカ人です。そのため、ロータリーというのはいくら多数決を基本とするといってもグローバルスタンダードで運営されているのではなく、アメリカンスタンダードで運営されていると言うことが判ると思います。

さて、それでは地区で唯一のR I管理役員であるガバナーは、どのようにして決定されるのでしょうか。それは、地区内の各クラブからロータリ

一の原則に合致した品位ある信頼できる方法でガバナーノミニーを選出していただきます。そして、ガバナーとして就任する日の直前24ヶ月以上36ヶ月以内に指名委員会に推薦書を提出していただきます。指名委員会では、候補者として名前が上がった会員の資格を調査し、その中から指名委員の総意の下にガバナーノミニーとして求めうる最高の候補者を推薦する事になるわけです。ですから、指名委員会では、地区の地理的要因や持ち回りなどと言う慣習にとらわれない方法で選出しなければなりませんし、R Iの細則に定められているガバナーの資格条件をすべてクリアーする方を推薦しなければなりません。また、本人にもこの激務を遂行し、すべてに耐えうる責任を全うする覚悟があるかを確認する意味で、声明書に署名して提出していただかなければならないのです。そうして決定したガバナーノミニーは、ノミニー年度のガバナーの指導下で一年間研修します。エレクトに就任してからは、日本国内で行われるGETS（ガバナーエレクトトレーニングセミナー）に参加して二日間の研修を受け、翌年の国際協議会では、世界の同期のガバナーたちと一週間の研修を受けて初めてエレクトとしての資格が備わる事になります。当地区ではエレクト年度の前半は、はじめにガバナー補佐会議を開催し（12月頃）自分の手足となって働いてくださる分区の代表者と地区事務局の役員との顔合わせからはじまります。そこで今後の日程の調整、PETS/地区協議会の予定、公式訪問の予定、地区大会の開催などについて話し合いながら大まかな構想を決めていきます。その後は、2月か3月に地区チーム研修会セミナーを開催し、地区の各委員長を集めて年度の活動方針を決定します。それを纏めたものをPETS/地区協議会でガバナー方針として次年度会長・幹事、クラブ役員に伝達し、はじめてガバナーとしての仕事が始まるわけです。ですからガバナーとしての役目が始まる7月からは、すべて決まった予定を着実にクリアーしながら動かさなければなりません。

ればなりませんので、もう後戻りすることはできません。ガバナー年度で遂行しなければならない行事は多岐にわたりますが、会員増強セミナーをはじめとして、米山記念奨学会セミナー、財団セミナー、地区指導者育成セミナーの開催、ライラへの参加、GSE交換、インターアクト、ローターアクトの地区大会等への参加、韓国3660地区とのインターアクト国外研修事業への参加、米山記念奨学生選抜、国際親善奨学金留学生選抜試験とオリエンテーション、地区大会の開催、83クラブの公式訪問、同期ガバナーの地区大会参加（基本的に自分の地区大会に出席して下さった各地区のガバナーの地区大会には必ず参加します。また、ガバナー会議長はじめ副議長の地区にも参加します。また、その他の地区ガバナーの大会には、2790地区内公式行事と重ならない大会に参加する事になります）、友好地区韓国3660地区の地区大会、東南アジア現地でWCS委員会活動の成果を確認することと、新たな奉仕活動を策定するための視察を行います。また、14の分区で行われるIMへの可能な限りの参加。各クラブの周年行事。中央で開催される米山記念奨学会の会議、ロータリーの友の会議、財団セミナー、ロータリー研究会、会員増強セミナー、年数回開催されるガバナー会への参加、最後に国際大会への参加が義務づけられていますので、これらをすべて終了して決算報告と、活動報告を纏めてはじめて当該年度が終了するわけであります。その後は、直前ガバナーとしてガバナーに協力してまた1年間指導に当たらなければなりません。

ガバナーは、エレクト、ガバナー年度と2年間でこれだけの行事を遂行しなければなりませんので、次年度ガバナーには特段のご配慮をお願い申し上げます。

さて、ここで日本の中央の組織「ガバナー会」について少しお話ししたいと思います。「ガバナー会」とは、1967年に日本ロータリー連絡委員会規

定が定められて以来、名称と規約の変更を重ねて今日に至っている会ですが、日本全国・34地区の当該年度のガバナーがメンバーとなって結成される会であります。慣例上、議長は毎年東京2地区のガバナーが交互に就任し、副議長も大阪、東京から選出される事になっています。顧問として現・元R I 理事が数名就任します。R I から正式に認められた会ではなく、日本だけの任意の会です。この会の運営は、全国のロータリアン一人当たり年額200円の拠出金で賄われ、事務局には常勤者が1名おります。活動目的は、ガバナー間の連絡調整とロータリー諸活動の情報交換が主なものです。定例会議は年3回ですが、その他、必要であればその都度開催されます。この会は、当初ガバナーの親睦団体として発足した組織で、今までは年一回開催されるガバナー、パストガバナー、エレクト、ノミニーが一堂に会した懇親の集いを主とする会でありました。しかし、最近とみにその役割が大きくなり、会のあり方を見直さなければならなくなって参りました。と言いますのは、日本の34地区が合同で参加しているロータリー活動をみてみますと、①ロータリーの友 ②米山記念奨学会 ③全国青少年交換委員会 ④ロータリー文庫 ⑤国際ロータリー日本青少年交換委員会 (RIJYEC) 等があり、非公式なものとしては⑥ローターアクト全国大会 ⑦ライラ全国大会、ロータリーリーダーシップ研究会 (R L I)、日韓親善会議、日台親善会議等 一寸数えてみただけでかなりな全国規模の委員会活動が行われています。これらは、ロータリーの友 (R I から地域雑誌として公認されている) や米山記念奨学会 (法人格を有する) を例外的なものとして捉えれば、他の会は、ある時点で有志が集まり、情報交換のために会が設立された以降は、全国的に規模を拡大して開催されるようになり、既得権を得て地区に拠出金を請求するに至ったという場合もあるでしょうし、大会の運営は参加者の自己負担で開催しているという会もございます。しかし、こ

の会に参加する地区の委員長には、地区が経費支給しなければならないところも出てきていますので、直接的にも間接的にも各地区の負担は増加しているとも受け取れるわけです。そして、その数は益々増えようとしております。これらの会に対しては管理運営上、34地区単独でそれぞれ別々に係わることが原則ですが、委員会の役員の人選や資金の調達、会計監査、適正な予算配分とその運営の適正な評価などをしなければならないこともあり、現実には各地区が個々に対処しているのは、不都合な点が出てきていることも事実であります。各地区のガバナーには、そのような適正に機能していない問題点を把握し、それに対処しなければならない義務がありますが、現実には公式訪問や、地区大会の開催、国際大会への参加などで忙しい毎日を送らざるを得ず、実際にこれらの業務に取り組む時間が取れないことも事実であります。それぞれの委員会は大変すばらしい、有意義な活動をしておりますが、しかし、ここで現在置かれている各地区の現状を考えて欲しいのです。会員数の大幅な減少のなかで多くのクラブや地区は予算作成に頭を悩ませております。

それは、①会員数の減少から各地区財政が逼迫してきており、何とか34地区に係わる委員会活動の負担を軽減したい (これは毎年既得権のように同じ額を請求される拠出金を、活動内容と照らし合わせた上で正等に評価して支払いたい) ②ここ数年R I から推奨される案件が日本文化に照らし合わせるとそぐわない点が出てきている、③国内外の災害発生時の緊急対応を迫られた場合、これを全地区が連携して緊急で行う ④青少年交換の受け入れ等で学生の一括ビザ申請業務を行う ⑤青少年交換事業だけでなく、新世代関連事業部門すべてを将来保険で担保しなければならない等の問題が現実的に発生してきており、それに対処するためには、ガバナー一年だけの任期では対処できないという問題が発生してきたのです。すでにこれらの多くの部門には、経験豊かなパストガ

バナーの皆様が役職に付かれ活動されておりますが、基本的には当該年度の実情を一番理解しているガバナーが意見を集約し、これらの委員会活動を各地区の現状に沿った形で業務推進させることが本来の姿ではないかと考えるのであります。活動の停滞しているところは会費の減額を行う、または会の存続の必要性について検討するなどの、スクラップアンドビルドを行わなければ、一度できた会は、ほとんど活動をしていなくても既得権のように会費だけ徴収すると言う事態がおきかねません。これは各地区の状況を勘案し、毎年会員減少をきたしている現実を理解して、今から改善していかなければそれぞれの地区の財政は破綻してしまいます。ロータリーの会員減少に起因する由々しき問題がしだいに出てきたものと考えられます。そこで、今年度ガバナー会では、34地区のガバナーが結束し、次のような会の設立を提案いたしました。その発想は、一部のパストガバナー、エレクト、ノミニーを参加させた形で、ガバナー会に懸案事項を継続協議して諮問するような委員会を新たに組織してはどうか。継続して話し合わなければ解決できない諸問題に対して、その解決のための方向性を決めていただけるような会、仮称「ガバナー協議会」の設置を提案したのであります。これは、単なる親睦だけの会としてのガバナー会はもう必要ないし、使命は終わったと判断したからであります。

現在、地区より支払っている分担金には、ガバナー会運営費 200円×会員数、ロータリー文庫 300円×会員数、RIJYEC 会費100円×会員数、平和フェロー支援金 15円×会員数、クラブから直接支払うお金 ロータリーの友購読料一人/年 2520円です。

日本のロータリアンの総数95,500人をかけると大変な額に相当します。私たちロータリアンは、現在これだけ多くの資金を拠出して各委員会存続のために資金援助しているのです。今回は、それぞれの委員会の問題点には触れませんでした、

委員会の中には潤沢な積立金を所有しているところがあることも事実です。この現実に関心しないで問題を先送りしていきまるとロータリーを変革する機会を失うばかりか、日本のロータリーは衰退してしまいます。問題の解決に至るまでには、まだまだ時間が必要ですが、これは次のエレクトへの懸案事項として引き継いで行きたいと思っています。今年度のガバナーは、あと数か月で終了してしまいます。改善できなかった点は、次年度、次々年度ガバナーにその夢を託して行きたいと思えます。どうかこの点をご理解頂き、次年度、次々年度ガバナーの皆様には、日本のロータリーが益々発展するように、会員増強できる基盤の整備をしていただきたくご理解を切に願うところです。日本のロータリーが世界から忘れ去られないように、クラブと共に地区も、そしてガバナー会も活力を取り戻し、すばらしいロータリーを再建したいと考えています。

このように今、中央では既存の組織の見直しと再編が行われようとしています。各クラブに於かれましても、過去の古いロータリーの体質や組織を継承するのではなく、改めるべきところはあらためて、新しい時代に求められるロータリーのあり方を探り、若い世代の人たちが入会しやすいような形に変革して頂きたいと願っています。

5月22日にはマンハッタンでテイスティング・チャリティー・ディナーを開催します。08-09年度を振り返り、来るべき09-10年度、10-11年度を力強く進めたいものと皆様と文化の香りと味わいを楽しみ、かつ子どもたちに光を当てた人道支援の為のチャリティーを企画しました。どうか皆様、一夜相集い、ロータリーの奉仕を美味しく味わいましょう。

そしてロータリーの原点の一つである「親睦」は、ロータリーにとっては譲ることのできない絶対価値であり、「童心一少年の心」で「親睦」の輪を広げたいものとお願ひ致します。

I M 報 告

第1分区 ガバナー補佐 小林 康郎

2月18日(木)第1分区インターシティーミーティングは分区内会員数の約62%の124名の参加を得て浦安市ホテルオークラ東京ベイに於いて開催された。リーダーに増田豁パストガバナーをお迎えして、今年度崎山ガバナーの掲げた3項目の目標の内職業奉仕に的を絞って「更なる職業倫理の向上に向けて」のテーマをあげて分区内会員の意識の向上を図った。



最近の社会現象の中で職業倫理に悖(もと)る反社会的行為があまりにも数多く発生し憂慮すべき状態になって居るが、我々ロータリアンとしてどのようにこれを考え行動すべきかを問いかけてみた。

リーダーである増田パストガバナーよりこれまでのロータリー奉仕活動の中での職業奉仕の沿革について有意義な講話を頂いた。

「吾もたち相手もたちてこそ真の商人なり」の理念を大切に考え、自分の職業を天職と心得て自信と誇りをもって行動すべきと思う。

「自分の身体であって自分だけの身体じゃない健全な身体で他人の為に役立ちたい。」

数年前脳梗塞で倒れ舞台復帰には半年はかかるだろうと言う病院からの宣告にも拘わらず、「自分は芸人だ。舞台に立つのが俺の役目だ」と歯を食いしばってリハビリに励んで1ヶ月と10日あまりで舞台に復帰した牧伸二さんの体験談を交えた講話も職業意識をどのように保持していくべきかという本日のテーマに幾分なりとも役立ったものとする。



懇親会の席では和気藹々の内に分区内会員の親睦を更に深められたことを付記しておきます。

第2分区 ガバナー補佐 清松 檜男

第二分区 I. Mは2月19日(木)、リーダーに鈴木雅博パストガバナー(市原中央RC)をお迎えして開催されました。

リーダーよりロータリー活動に対する格調高い基調講演をいただいた後、各クラブの代表意見発表となりました。例年ですと統一のテーマですが、今年度は各クラブの自主性を重んじ、ロータリー活動の活性化を各クラブ間の相互理解という面で独自のテーマとしました。

「ロータリーと私」	船橋みなとRC	竹田次期会長
「これからのロータリー」	船橋南RC	鈴木次期会長
「これからのロータリー」	船橋東RC	金子次期会長



「クラブ奉仕について」	船橋西RC	目崎次期会長
「夢をかたちに」	船橋RC	加登次期会長
「これからのロータリー」	鎌ヶ谷RC	柏崎次期会長

以上6クラブ発表後、リーダー鈴木パストガバナーより講評をいただき、続いて感謝状、記念品贈呈後、次年度ガバナー補佐 木村本治氏、次年度ホストクラブ会長 目崎 誠氏(船橋西RC)のご挨拶をいただき閉会となりました。懇親会ではリーダー、発表者の労をねぎ

らい、会員相互の親睦を深めました。



第3分区A ガバナー補佐 川島 教昭

テーマ「クラブ活性化について」

日時 …2009年2月17日(火) 14:00点鐘 懇親会16:00～17:30
会場 …「東天紅」スカイウィンドウズ・センシティタワー23階(千葉西RC通常例会場)
参加者…第3分区A 7クラブ(例会出席者155名、懇親会出席者113名)

■ 崎山征雄ガバナー

IMは近年、分区内クラブが集い親睦とロータリー情報の交換会になりつつある。もっと柔軟に分区の枠を外して行っても良いのではないか。特に新世代のための事業を国内外で考えたい。また「変革」に対応する為CLPを検討し、その理念を理解することが必要。過ぎ去った発展・繁栄・停滞の100年と衰退の時代に入った昨今を考えよう。

* 1997年からの地区アンケート現況説明がなされた。

■ 森島庸吉IMリーダー

クラブ活性化のためのRI指針は参考にさせていただいて、あくまでも自身のクラブの自主性が尊重されるべきです。各クラブでそれぞれの特徴を活かして活動してください。



■ 高木直之氏(かながわ湘南RC創立会長) 基調講演「私とロータリー、私のロータリー」

クラブの活性化はロータリーの活性化そのものです。日本のロータリークラブは奉仕の理想を実際の活動に結びつける行動が課題です。大切なのは組織や制度をいじることではありません。まずアイデアを行動に移す個人から始まります。「行動なきビジョンはただの夢」「ビジョンなき行動は悪夢」と言われます。

船は前に進む力(行き足)がないと、横から風を受け流されます。行き足があれば風に乗って進みます。ロータリーの究極の目的である平和で貧困の無い世界がすぐに達成出来るとは思いませんが、立ち止まっては流されるだけで目標は遠のくばかりです。常に前に進み続けること、挑み続けることが大切です。上手い出来ないこともあるでしょう、上手いと思ったら次の挑戦が待っています。大事なのは前に進み続ける勇氣です。

ロータリアン一人ひとりが「風に向かって進み続ける船」であるべきです。愛するロータリーの未来は我々一人ひとりの手の中にあるのですから。

* 懇親会ではガバナー、森島リーダー、高木氏を含め熱心な質疑応答が行われました。

第3分区B ガバナー補佐 長塚 公毅

テーマ『子ども達に光の当たる奉仕プロジェクト』



2月13日(金)、“IM”は、第3分区B(6クラブ)全員登録で約過半数のご参加をいただき、祭日(建国記念日)をはさみ週末の大変忙しい中を開催されました。

昨年から続いた未曾有の大不況により、各企業にとりましても悪戦苦闘の毎日でもあり、今回の“IM”は、ホストクラブの千葉南RCとも協議を重ね、最小費用で最大効果ということで、通常例会費(¥3,000)の会費で運営し、特別会費(懇親会費)は徴収しないことにしました。

今回は、嶺山ガバナーのIM地区重点目標から、テーマとして「子ども達に光の当たる奉仕プロジェクト」を選び、NPO法人子ども劇場千葉県センター・岡田泰子理事長をお招きし、サブテーマ「子どもの命、健やかな成長を祈って」と題し、基調講演をお願いし、その会費の中から20万円の寄付をさせて頂きました。チャイルドライン千葉「子ども電話」へのメッセージを受信・発信し、急増する子どもの自殺者が一人でも救えたとしたら、今年度の“IM”が大変意義深いものとして評価されることと確信しております。

但し、反省点としては、“IM”のもう一つの目的でもある親睦と友好を深めるための“懇親会”が粗宴となってしまったことは深くお詫びしたいと思います。

出口のない“不況”はありません。次年度こそ通常の会員相互の友情を深める懇親会は、十分に時間をとって頂き、多少費用が増えても復活することを祈念してやみません。

末筆ながら、鈴木リーダー(パストガバナー)には、良きアドバイスとご指導を頂き、ホストクラブの千葉南RC・金親会長、竹尾幹事はじめ会員の皆様のご努力と熱意、ご配慮には感謝あるのみでございます。“有難うございました。”



第4分区 ガバナー補佐 石渡 鋼

13日の金曜日しかも前日から春一番の強風が止まない寒にしては妙に暖かな、ガバナー補佐の不安を掻き立てる様なそんな午後、かずさアカデミアホールで第4分区のIMは開催されました。

「私の人生に於ける職業、そしてロータリー」というテーマを掲げさせて頂きました。ロータリアンの誰でも心の隅に在るであろう、ロータリーに費やす時間と金は人生にとってどれ程有益か、とかロータリーと職業との融合性は如何に、とかの思いを3クラブの代表の方々に発表して頂きました。

リーダーとしてお迎えした白鳥パストガバナーより基調講演として表題に添ったお話、御自身の創業時の苦勞、ロータリーに入ってから自身の自身と社員の変わりよう、などパストガバナーの現在しか知らない私たちはプライベートな過去を伺い、改めて親しみの沸いてくるのを感じたのであります。

また今回懇親会を含め初めて会員夫人にホストクラブとしての手伝いをしてもらったことが、パストガバナーより今後に資するものとの評価を頂いたことは広野に一輪の花を見出した思いでありました。

もう一つ、第5分区ガバナー補佐川名克己様にご紹介いただいた勝浦在住アコーディオン奏者渡辺ヒロ子氏の演奏を入れたことも、会の気品を高めたと自賛しております。



第5分区 ガバナー補佐 川名 克己

IMを顧みて

第5分区のIMを200名の大勢の皆様の参加の元に開催できましたことに厚く御礼申し上げます。

分区の最大行事であるIMにつきましては、昨年4月27日の地区協議会に於いて崎山征雄ガバナーエレクトはRIの指導方針のもとに我々ロータリアンとクラブの活動が、みんなの喜びであるような様々なプロジェクトを、広く、力強く、展開できるようにし、有効に生かされ、クラブ基盤の活性化、会員増強につながるような活動を目標とする、そのような役割に備えるための研修とするように、指示がありました。



そのためにも我々ロータリーは「親しい友人の集まりである」というロータリーの心と原点を大切に「日本人の和の心、それを支える武士道精神」という、かつて日本人の育み教えられた世界に誇るべき倫理観を提唱されました。

次に本年度のIMのテーマとして企画し、クラブ間の会員の親睦交友を図るために次の指示がありました。

- ① 子供達に光が当たる奉仕プロジェクト
- ② 職業サービス、倫理向上に対する私の考え方
- ③ 私たちのクラブ発展の為の中長期計画

以上でしたが、武士道の精神は、弱いものを助け大きく強いものに背を向けない、逃げないという卑怯を憎み恥とする、ヨーロッパ・騎士道とも相通じるものであり、また勝負は鞘のうちにありと、ぎりぎりまで刃を抜かず、戦わずして勝つことを最上の手段とする「和の心」を最重要視する、正にロータリースピリットそのものであると考えます。

この様な訳で敢えて軸足を和の心とそれを支える武士道精神にしぼって童門冬二氏にご講演をお願いした次第です。

その結果、大変ご好評を頂き講演会アンケートを集計しました結果、アンケート回答数70名のうち、講演内容が大変参考になった(41名)、もう一度聞いてみたい(21名)、その他、ご意見・ご感想・ご要望を頂きましたところ、「大変内容のあったIMであった」、「武士道の精神は今の時代大変参考になった」、「いま日本に求められるもの、生かそう日本の心」等々、多くの方々に同感を得られたことは感謝に耐えません。

今後のロータリー奉仕活動の原点に立ち返って清涼な気分にしぼし浸る事ができました事に感謝申し上げます。御礼の言葉と致します。

第6分区 ガバナー補佐 進藤 義男

テーマ 子どもたちに光のあたる奉仕プロジェクト

第6分区のIMは、2月24日、プラザヘイアン茂原にて行われました。9クラブ登録総数293名、出席178名です。

11:30 ～ 登録・昼食

12:30 ～ AG進藤による点鐘。国歌斉唱、「奉仕の理想」と続き、岡 実行委員長により開会宣言、香山会長による歓迎のことばが述べられました。

多忙な公務の中を茂原市長 田中豊彦様より「ロータリアンの一人おひとりが崇高なる奉仕の精神をもって、親善と平和の推進に活躍され、人・自然・文化が調和し、明るく住みよい地域社会づくりに貢献

されているのが顕著であります。これはロータリアンとしての限りない情熱と団結力によるものであり、深く敬意を表する次第であります。」と祝辞をいただきました。

13:00 ～ 基調講演は標題をテーマに、リーダーをつとめていただきました、パストガバナー杉木禧夫 様から30分間の貴重なお話に対し、出席者は感動の拍子をおくりました。内容の一部を抜粋させていただきます。「ここで、私の所属する茂原RCが、'04年以降毎年茂原市内の中学校を対象に、クラブ会員によるロータリー出前教室という課外授業を実施しております。これは中学生のみなさんに対し、将来の職業選択、あるいは社会勉強の一助との試みで始められたものです。」この出前教室は学校の内外に反響を呼び、'08年12月11日の朝日、毎日、千葉日報のニュースにとりあげられ報道されました。



13:30 ～ 9クラブの代表から貴重な意見発表が行われました。続いてリーダーから講評があり、特筆に価する二人の発表者に対しましては、心温まるアドバイスと励ましのことが述べられました。

15:00 ～ 直前AG感謝状贈呈や次年度会長・幹事、AG紹介等があり、閉会の点鐘となりました。

15:45 ～ 懇親会。なごやかなふん囲気の中に親睦交流が行われました。

第7分区 ガバナー補佐 織田 吉郎

2月15日、山中パストガバナーご夫妻をお迎えして「子供たちに光が当たる奉仕プロジェクト」をテーマに行なわれました。



日本では5歳未満の子の死亡率は0.4%と世界有数の低さということもあってより身近な問題とするために「子供たち」を「新世代」まで拡大して考えてみようということにしました。分区内4クラブの内3クラブに千葉科学大学の先生がおられるため、教育現場からの「現代若者事情」を聞かせていただけるというのも楽しみでした。

また、子育ての一方の主役であるご夫人方にもお声掛けて共に学ぶことにしました。奥様方とは宴席を共に

することはあっても学ぶ場でご一緒することは滅多にありません。ロータリーの活動には家族の協力を欠かすことはできません。ロータリーの一面を知っていただくことは、今後、より地に足の着いたロータリー運動を展開してゆく上で大切なことだと考えています。

111名の参加を得て大いに懇親を深めました。懇親会の席上で銚子RC合唱同好会「コーロ・ハモンティアーノ」が日頃の練習の成果を発表してくださいました。こういう家族参加の仕方もあるのだ……という情報を他クラブと分かち合うことができました。



「高校生とともに、夢をかたちに」

2月19日 多古町文化ホールにて、千葉県立多古高等学校と共催の形で開催された。キャリア教育推進指定校として文科省表彰を受けた同校はインターンシップ等、活発に教育展開しており、ロータリーの地域に密着した活動で若者たちに「夢をかたちに」を目的とした。高校生・職員・ロータリアン・教育関係者、約500名の参加のもと、パストガバナー秋元秀夫リーダーの基調講演「おじいちゃん和孫の物語」は、若者達に生き方を問いかける、心に染み透る素晴らしいお話であった。パネルトーク「夢をかたちに、進路についてどう考え、行動するか」は、石毛校長・進路担当・生徒6名・リーダー・補佐・各クラブ1名のパネラーの発表・質疑応答で進めたが、予定をオーバーするほど活発で有意義であった。場所を移動しての懇親会は、浅野会長（多古）の「今の危機を私たちは絶対に乗り越えよう！」との思いを胸に杯を酌み交わした。



第9分区 ガバナー補佐 近藤 博貴

第9分区（成田、八街、印西、白井、富里、成田コスモポリタン）のIMは、2月20日（金）成田ビューホテルを会場として14時点鐘しました。出席会員は146名でした。合同例会では、ホストクラブの喜久川登成田RC会長の歓迎のことばに始まり、近藤博貴AGの挨拶の後、各クラブの紹介が行われました。つづいてミーティングリーダーである秋元秀夫PGの「私の見た印旛沼とその提言」と題する卓話がありました。秋元さんはこのIMのために、わざわざ印旛沼の周辺を訪ねられ、その実情と感じたことをお話下さいました。



例会の後20分程休憩をとり、主テーマである「楽しめる印旛沼にしよう」という演題で、立本英機先生の講演を聞きました。先生は、長年印旛沼や手賀沼の汚濁の原因、浄化対策などの研究をされて来られました。印旛沼周辺の風物に接し、印旛沼の水が手で汲んで飲めるような自然環境を復元し、子孫に残していく対策を講じていくことが大切であるという主旨のお話がありました。

講演会の後、会場を移し懇親会に入り、和気藹々の談笑のうちに18時過ぎ無事IMを終了しました。

第10分区 ガバナー補佐 須藤 英華

「第10分区IM」はこの2月18日、柏、我孫子、柏西、沼南、柏南の5クラブが一同に会し、来賓として柏市長本多晃様、我孫子市長星野順一郎様、IMリーダーとしてPG白鳥政孝様、ゲストとしてGE中村博亘様をお迎えし、柏クラブのスポンサーの下100余名の会員参加を得て、三井ガーデンホテル柏にて開催致しました。冒頭、両市長にインターシティに關したお話を頂き、中村GEの示唆に富むご挨拶のあと、白鳥PGから次掲のテーマで拡張高い基調講演を頂きました。

そこで、今回の第10分区IMテーマは『CHANGE the ROTARY too』、副題《ロータリーも変わるべきか？ どう変わるべきか？ CLPを基本に》としております。折しも、世界は100年に一度と言われる未曾有の危機に見舞われており、そこから脱却すべく『変革』(CHANGE)が叫ばれております。我らが



ロータリーも創立以来100余年に及ぶ長い歴史を経ておりますが、これからさらに発展していくためには、この世界情勢と無縁であることは決してありません。このロータリーの先人たちが築き上げた素晴らしい歴史と伝統に最大の敬意を表しながら、愛すべき我々のロータリーの『変革』を考えてゆくために『CHANGE』をキーワードにし、CLPで推奨している5つの「常任委員会」(1.クラブ管理運営委員会 2.クラブ広報委員会 3.

会員増強・退会防止委員会 4.奉仕プロジェクト委員会 5.ロータリー財団委員会(米山奨学会委員会))ごとに5クラブ内で討議した内容を代表の方に発表していただきました。発表後、リーダー白鳥PG、ゲスト中村GEからのご指導を賜り大変有意義なIMとなりました。最後に關係された皆様に厚くお礼を申し上げます。

第11分区 ガバナー補佐 山川 成美

私共 第11分区は 分区内でも一番早い 2月4日(水)に佐倉市ユーカリが丘のウィッシュトンホテルで開催致しました。午後1時登録開始で始まり、1時30分点鐘、国歌斉唱、ロータリーソング「我らの生業」、開会宣言、等と順調に進み、ご来賓のガバナー崎山征雄様にご挨拶を頂き、本日リーダーとしてご来場頂きました、パストガバナーの森島庸吉様の基調講演「最近のロータリー情報」と言う演題にてご講演を頂きました。続いて各クラブ発表で 今年の三つの課題の中より、「職業サービス、倫理向上に対する私の考え方」に4人の方が、又「私達のクラブ発展のための中長期計画」に3人の方が発表されました。各クラブの発表についての質疑応答、森島リーダーの講評がありました。15分のコーヒブレイク後、特別講演として昨年7月に私共佐倉中央ロータリークラブに入会した高木邦夫氏が「20世紀末～21世紀初頭の事業の再編成とプロ野球」と題しての講演が有りました。氏は大学卒業後株式会社ダイエー一筋に歩んでこられ取締役から、常務、社長、そして会長に、又 株式会社リクルートの常務、そして専務取締役と歩んでこられたご経歴からいろいろと今になれば話せるような事とか、プロ野球「福岡ダイエーホークス」王監督との話を大変興味深く聞かせて頂きました。この後、直前ガバナー補佐への感謝状、記念品の贈呈。次年度ガバナー補佐の紹介、次年度ホストクラブの会長の挨拶、そして点鐘。この後17時10分より懇親会と移り年に一度の7クラブ合同の研修が滞りなく終了する事が出来、今日一日、基調講演、各クラブ会長エレクトの発表、そして高木会員の特別講演と盛り沢山の内容でしたが研修でのお疲れを懇親会で充分癒して頂き、明日よりの活動の糧にして頂ければ幸いと存じます。



第12分区 ガバナー補佐 並木 幸雄

第12分区 5クラブ合同例会／インターシティ・ミーティング

2月24日開催

□ 5クラブ合同例会



■松 戸 第2575回 ■松 戸 東 第1898回

■松戸中央 第1294回 ■松 戸 西 第1090回

■松 戸 北 第1766回

12時30分点鐘後、ホストクラブ「松戸北RC」野村 充会長の会長報告から松戸市長・川井 敏久様の卓話まで、和やかな中にも格式高く合同例会が開催されました。川井市長におかれましては、議会開催中の休憩時間をさいて御出席を賜りました。

□ インターシティ・ミーティング

13時30分開会、並木幸雄ガバナー補佐の挨拶に始まり、増田リーダーの基調講演と進み各クラブの会長エレクトによる「私達のクラブ発展のための中長期計画」をテーマに具体的な計画が発表されました。

増田リーダーにおかれましては、基調講演や総評を具体的に賜りありがとうございました。

直前ガバナー補佐の湯浅様より引き継いで、並木幸雄ガバナー補佐を中心に実行委員会を立上げ無事に5クラブ合同例会及びインターシティ・ミーティングが終了いたしました事をご報告申し上げます。

松戸北RC 幹事 森谷 充伯

第13分区 ガバナー補佐 渡会 顕

13分区IM並びに合同例会は、2月7日（土）ナプシャルズ日本閣南柏において、「私達のクラブ発展のための中長期計画」をテーマとし、国際ロータリー2790地区杉木禧夫パストガバナーをリーダーに迎えて開催された。

合同例会は、ガバナー補佐の点鐘に始まり、リーダー紹介、参加クラブ紹介、物故会員への黙祷、ホストクラブ中村会長の歓迎挨拶、来賓の井崎義治流山市長のご挨拶に続いて、リーダー杉木パストガバナーのご挨拶と基調講演を頂いた。リーダーは講演で、ロータリーの原点より、財団のこと、「奉仕

の哲学」より「世界理解と平和」への目的の転換、綱領などにふれ、ロータリアンは「超私の奉仕」ロータリー綱領を心に刻み、道徳観をしっかりと軸とし、自らの精神性を高め、職業奉仕を為すべきと締めくくられた。

IMは、標記テーマのもと、野田RC山本章裕会長エレクト、流山RC熊坂牧子会長エレクト、野田東RC吉澤太郎幹事、野田セントラルRC飯塚博会長エレクト、流山RC斉藤忠会長エレクトより提言発表ののち、杉木リーダーより講評をいただいた。

次いで、吉田国計直前ガバナー補佐へ、杉木パストガバナーより感謝状・記念品が贈呈され、次期ガバナー補佐、次期ホストクラブの紹介及び挨拶をもって閉会となった。



スプリングキャンプ紀行

青少年交換委員会委員長 飯生高一郎



3/27(金)・28(土)・29(日)と2泊3日で恒例のスプリングキャンプを実施しました。今年来日している、エイローズ(フランスから八千代RC)とジュリアーナ(アメリカから松戸RC)、そして本年8月派遣されます勝浦RCの溝口さん、鴨川RCの高梨さん、成田RCの宮田さん、成田空港南RC篠崎さんを含め千葉REXの2人、そして委員の松原さん(佐倉中央RC)と10人で広島・京都の方に日本の歴史といにしへの文化を体験する目的で行ってきました。

今年は時間の短縮のために羽田空港から飛行機にて往復致しました。結果かなり時間をうまく使えたと思

います。出発時間にもゆとりがもて、京都でも例年よりも多く金閣寺を見学することができました。また京都の円山公園の桜が満開になっており、多くの人で賑わっておりました。

初日は広島空港から貸切りバスで岩国にある『錦帯橋』に行きました。ガイドさんからこの橋はすべて木の骨組みで組んでありクギを1本も使っていないんだよ、そして50トンの重みが1ヵ所に加わっても力が分散されてしまい壊れないんだと言われて、古来からの日本の技術の高さに一同あぜんとしてしまいました。午後宮島の『厳島神社』に参拝しました。船で神社の島に渡ると多くの鹿が出迎えてくれて留学生たちは可愛い可愛いの連呼でした。神社では干潮でして神社も鳥居も足元までくっきり見えていて勉強になりました。

2日目徒歩にて「平和記念公園・原爆ドーム」を見学しました。今完全に復興なった広島町の町にいて、原爆ドームを見ていると昔実際にあったとは信じられないと口々に言うておりました。中でもアメリカ人のジュリアーナは複雑な気持ちで一杯のようでした。

最終日貸し切りバスにて「元離宮二条城」を見学し、清水寺に参拝、昼食は清水順正にて名物の「湯豆腐」に舌づつみ、そして午後「金閣鹿苑寺」(金閣寺)を参拝し、伊丹空港から飛行機にてPM5:35羽田空港に無事到着しました。

今回のキャンプでは、昔から連綿と続く日本の古い歴史や文化を見て聞いて触れて探求し、かつ世界で唯一の被爆国である日本を理解すると同時に『もう絶対核は使わない』ということを再確認するうえで、掛け替えの無いキャンプになったものと確信致します。

文庫通信 (259号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

- ◎「ロータリーの根本を考える」 井上暎夫 2009 3p (D. 2660)
- ◎「Stigma 恥辱の烙印」 塚原房樹 2009 2p (D. 2510)
- ◎「職業と奉仕」 近藤雅臣 2009 2p (D. 2660)
- ◎「ロータリーの職業倫理訓逐条解説(7)～(9)」 青木伸翁 2009 3p (D. 2770)
- ◎「識字率向上は世界平和への道」 諏訪昭登 2009 2p (D. 2710)
- ◎「『ロータリーの森』とその後」 好川嘉則 2009 1p (D. 2650)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

各地区ガバナー月信より

- ◎「ようこそロータリーへ」 濱田五左衛門 2009 3p (D. 2800)
- ◎「例会とロータリーの原理原則」 安孫子貞夫 2009 1p (D. 2800)

ロータリー文庫
〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

クラブ活動報告

第2回成田ロータリークラブ杯争奪サッカー大会開催

成田RC 副幹事 佐瀬 和年



平成21年3月22日（日）時折り雨が降り寒い風が吹く中、2回目となるサッカー大会が栄町にある利根川河川敷サッカー場で行われました。

大人達15チームと少年9チームが寒風の中、白熱した戦いが行われました。

少年サッカーチームは三里塚FCが2年連続優勝を勝ち取り、成田ロータリークラブ・喜久川登会長より、優勝トロフィーが授与されました。



習志野中央ロータリークラブの親睦活動

習志野中央RC 親睦グループリーダー 古田 憲一



当クラブではクラブ管理運営の中に親睦活動委員会があります。会員と会員家族の皆様と交流を深める企画を多く取り入れて活動しております。毎月会員及び配偶者の誕生日に毎年異なる贈り物を又結婚記念日には花束を贈り、会員、家族の絆を深めております。

7月は新旧会長幹事慰労、激励を兼ねての移動例会。9月はパークゴルフ大会を開催し、お孫さんやRACの会員合わせて43名の参加が有り、楽しい一日を過ごしました。12月には家族同伴・RAC合同クリスマス例会を開催、今回はソプラノ歌手、森分千恵子さんを迎

えた素晴らしい、クリスマスパーティーとなりました。1月は新年例会、4月には屋形船に乗り込み総勢42名の会員、家族でお花見例会を開催、墨田の桜とお台場の夜景を満喫しました。5月には、家族同伴親睦旅行を米山梅吉記念館方面への予定です。6月は最終例会をニューオータニ幕張にて盛大に行う予定です。その他に新入会員の歓迎会、家族ぐるみのGOLF大会を行っており、今年の3月に70回となりました。

これからも家族の方にロータリーをより理解して頂けるように、毎年少しずつ趣向を変えて懇親を深めていきたいと思っております。





ロータリーの友 inf. 5

ロータリーの友地区委員 中野 尚宏

貴重な紙面を割いて、8月号から掲載したinf. は今回で最後となりました。毎回「友」誌の購読と情報源としての活用およびクラブ活動状況の投稿奨励を中心にご案内させて頂きました。

ロータリーの友地区委員として責任編集する「地区のたより」は、お陰様で5月号に掲載されます。関係各位のご協力に感謝申し上げます。

inf. 最終報告として、地区内クラブから昨年7月号より今年4月号までに投稿掲載された記事とロータリーの友編集室より採用された記事の掲載状況についてご案内いたします。

- ・卓話の泉 八日市場RC、成田コスモポリタンRC。
 - ・ロータリー俳壇・歌壇・柳壇 富里RC、市川RC、茂原東RC、富津中央RC、野田RC。
- なお、市川RCの照井親資会員は、毎回投稿されて9首(句)が掲載されました。
- ・ロータリー・アット・ワーク (文章編) 木更津東RC、成田RC、(写真編) 鎌ヶ谷RC、船橋南RC、袖ヶ浦RC、野田東RC。

掲載がなかったものとして、「友愛の広場」「言いたい 聞きたい」「私の宝物」「私の好きな一字」「内外よろず案内」は、残念ながら投稿採用がありませんでした。

特集記事として9月号「若い人のためにできること」欄に「エコロジーを子供たちに」と題して船橋東RC、10月号「新樹の声」欄に茂原東RC・片岡太会員の記事が掲載されました。

投稿要領の詳細は、「友」誌12月号45ページに詳しく掲載してありますので参考にしてください。今年度の「友」誌の表紙は、プロ写真家による「陸の生物、水中の生物写真」で構成してきましたが、2009-10年度は、会員からテーマ「祭り」を募集した写真で構成いたします。また、昨年10月26日開催した地区大会記念講演の古田貴之氏「ロボットと共生する未来」が5月号「SPEECH」欄に掲載されますのでお知らせします。

行事予定		太字：クラブ関係
5月	8日(金) インターアクト委員会 第42回指導者講習会 東天紅 13:00～ 9日(土) 米山新規奨学生と世話クラブカウンセラーオリエンテーション 千葉駅ビル ペリエ 15:00～19:00 10日(日) 青少年交換委員会(最終回) 千葉ハーモニープラザホール 11:00～ ローターアクト地区年次大会 三井ガーデンホテル船橋ららぽーと 記念行事 10:00～ 本大会 13:00～ 21日(木) 千葉若潮RC 創立10周年記念式典 ニューオータニ幕張 17:00～ 22日(金) 【テイスティングセミナー&チャリティディナー】 ホテル ザ・マンハッタン 17:00～ 23日(土) 第14回日本青少年交換研究会・第6回全国ROTEX会議 ～24日 24日(日) 第9回R財団委員会 9:00～ 奨学生選考会 10:00～ 青少年女性会館	
6月	3日(水) 米山次年度奨学生募集について 大学関係者への説明会 千葉駅ビル ペリエ 14:00～17:00 7日(日) 第10回R財団委員会 奨学生オリエンテーション 壮行会 ホテルニューオータニ幕張 14日(日) 青少年交換委員会 来日・派遣学生歓送迎会 ホテルニューオータニ幕張 12:00～14:00 21日(日) 【R国際大会】英国バーミンガム ～24日(水)まで 28日(日) 第11回R財団委員会18:00～ R財団OB会、委員歓送迎会18:30～	

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

年次寄付 (ポール・ハリス・フェロー)



柏崎 育造
(鎌ヶ谷RC)



大澤 茂
(鎌ヶ谷RC)



飯高喜代志
(千葉西RC)



田口美恵子
(千葉西RC)



土屋 利夫
(大原RC)



佐々木英人
(東金ビューRC)



石川 勝
(東金ビューRC)

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



平山 金吾
(成田RC)
11回目



松井 一朗
(上総RC)
3回目



沖津 光久
(上総RC)
3回目



渡邊 幸一
(鎌ヶ谷RC)
3回目



石川 信昭
(鎌ヶ谷RC)
3回目



鈴木 秀承
(鎌ヶ谷RC)
3回目



石井 久喜
(木更津RC)
3回目



平野 弘和
(木更津RC)
3回目



滝澤 尚二
(成田RC)
3回目



杉山 俊明
(銚子RC)
2回目



寺川 忠男
(松戸北RC)
2回目



宮川 忠士
(千葉西RC)
2回目



田中伸之介
(上総RC)
1回目



梅原 正一
(上総RC)
1回目



野口 正夫
(千葉西RC)
1回目



岡田 靖子
(柏西RC)
1回目

恒久基金 (ベネファクター)



渋谷 重大
(鎌ヶ谷RC)



平野 一隆
(大原RC)



醜醐 眞亮
(大原RC)

米山記念奨学会寄付

米山功労者



渡邊 幸一
(鎌ヶ谷RC)
14回目
メジャードナー



遠藤 元明
(市原中央RC)
2回目



平野 省二
(成田RC)
1回目



神谷 修一
(成田コスモポリタン)
1回目



木村 齊
(成田コスモポリタン)
1回目



大木 裕信
(成田コスモポリタン)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



三上 浩
(千葉西RC)
学校経営・大学
1月6日入会



伊藤 禰雄
(旭RC)
運送業
2月20日入会



水野登美子
(旭RC)
薬剤師
3月6日入会



小林 裕明
(鴨川RC)
司法書士
3月10日入会



大川 博
(千葉西RC)
金融・地方銀行
3月24日入会



鈴木 秀彦
(千葉西RC)
金融・商業銀行
3月24日入会



水野喜一郎
(習志野RC)
病院常務理事
3月25日入会



寺田 昭彦
(八街RC)
石油製品販売
3月31日入会



原 弘行
(八街RC)
経営コンサルタント
3月31日入会



山口 稔
(富津シティRC)
医療全般
4月1日入会



大根 稔夫
(茂原RC)
普通銀行
4月2日入会



笹木 規子
(柏RC)
警備保障
4月8日入会

R. I. 第2790地区（千葉）2009年3月出席・会員数報告

分区	クラブ名	出席率 %	例会数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1分区	市川	100.00	4	50	0	51	0	1
	市川東	100.00	4	48	2	46	1	-2
	市川南	71.50	4	21	2	20	2	-1
	浦安	84.50	3	48	0	50	0	2
	市川シビック	81.67	4	38	0	36	0	-2
第2分区	船橋	93.15	4	26	0	28	0	2
	船橋西	81.80	3	48	4	47	4	-1
	鎌ヶ谷	80.68	4	27	2	27	2	0
	船橋東	84.25	4	33	3	35	3	2
	船橋南	77.30	4	26	3	27	3	1
船橋みなと	69.53	4	30	7	29	7	-1	
第3分区A	千葉	87.25	4	70	0	66	0	-4
	新千葉	90.55	4	49	0	48	0	-1
	千葉西	80.85	4	51	5	52	5	1
	千葉中央	79.55	4	38	0	37	0	-1
	千葉幕張	79.30	5	32	3	36	3	4
	千葉東	70.00	4	31	4	29	3	-2
	千葉若潮	92.11	4	35	0	36	0	1
第3分区B	千葉南	79.55	3	44	5	46	5	2
	市原	80.60	4	49	4	49	4	0
	千葉港	82.12	4	26	0	29	0	3
	市原中央	81.60	5	47	1	49	1	2
	千葉北	65.60	4	27	1	26	1	-1
千葉緑	51.11	5	27	2	27	2	0	
第4分区	木更津	80.00	4	43	3	45	3	2
	上総	71.04	4	20	0	19	0	-1
	富津	85.75	5	21	1	22	1	1
	富津中央	91.25	4	18	0	20	0	2
	木更津東	88.28	4	38	0	40	0	2
	君津	92.19	5	43	2	40	2	-3
	袖ヶ浦	94.56	4	24	2	25	2	1
	富津シティ	84.21	4	20	0	18	0	-2
第5分区	館山	82.07	4	51	4	59	4	8
	鴨川	86.10	5	23	2	24	2	1
	勝浦	82.54	3	43	4	42	4	-1
	千倉	87.90	2	19	0	16	0	-3
	鋸南	86.00	3	15	1	14	1	-1
	館山ベイ	72.73	3	19	0	23	0	4
第6分区	茂原	82.55	4	65	2	62	2	-3
	東金	71.32	4	33	0	34	0	1
	大原	72.00	4	16	0	16	1	0
	大多喜	86.45	4	18	2	17	2	-1

分区	クラブ名	出席率 %	例会数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第6分区	成田空港南	92.00	3	42	0	46	0	4
	茂原東	82.81	4	32	3	31	3	-1
	茂原中央	79.46	4	26	4	26	4	0
	大網	74.17	4	31	2	30	2	-1
	東金ビュー	73.20	4	27	1	28	1	1
第7分区	銚子	88.20	4	48	1	45	1	-3
	旭	100.00	3	49	0	48	1	-1
	八日市場	72.64	5	38	0	41	0	3
第8分区	銚子東	79.31	5	39	0	38	0	-1
	佐原	77.27	4	50	0	48	0	-2
	多古	73.87	4	19	0	22	0	3
第9分区	小見川	89.42	4	27	0	26	0	-1
	佐原香取	85.70	5	23	0	25	0	2
	成田	100.00	4	58	0	59	0	1
第9分区	八街	83.70	4	37	2	39	2	2
	印西	96.66	4	31	0	30	0	-1
	白井	82.00	5	17	0	18	0	1
	富里	68.30	4	28	0	29	1	1
	成田コスモポリタン	79.24	4	57	0	58	0	1
	柏	71.40	4	38	7	39	7	1
	我孫子	86.20	5	26	0	28	0	2
第10分区	柏西南	85.56	3	53	2	54	3	1
	沼南	82.08	4	22	1	24	1	2
	柏南	79.80	4	31	3	31	3	0
	習志野	71.48	4	39	2	42	2	3
第11分区	八千代	82.00	3	47	0	47	0	0
	佐倉	71.79	3	14	3	13	2	-1
	八千代中央	75.00	4	30	0	29	0	-1
	四街道	85.00	5	24	3	24	3	0
	習志野中央	76.40	4	37	4	40	5	3
	佐倉中央	58.31	4	16	2	18	2	2
	松戸	85.22	4	47	0	50	0	3
第12分区	松戸東	94.12	3	51	0	54	0	3
	松戸北	96.00	4	40	0	40	0	0
	松戸中央	74.27	4	43	3	52	3	9
	松戸西	80.21	4	24	0	24	0	0
第13分区	野田	72.23	4	48	5	45	5	-3
	流山	78.12	4	21	3	24	3	3
	野田東	88.71	3	34	0	32	0	-2
	流山中央	66.67	5	26	2	27	2	1
野田セントラル	85.59	4	30	0	27	0	-3	

物故会員 (敬称略)



間宮 良二 (千倉RC)
 逝去日：2009年3月6日 (享年93歳)
 入会日：1965年12月1日
 ローターリ-暦
 1975年 ボリスハリスフェロー
 1977年 会長
 1988年 ボリスハリスフェロー



山本 善捷 (千葉西RC)
 逝去日：2009年3月28日 (享年70歳)
 入会日：1980年2月19日
 ローターリ-暦
 1997年 第23代会長
 MPH F 3回
 米山功労者4回

クラブ数 83RC
 2008年7月1日地区会員数 2,870人
 2009年3月末日地区会員数 2,913人
 2008年7月1日地区女性会員数 124人
 2009年3月末日地区女性会員数 126人
 当月平均出席率 81.51%
 増減 +43
 女性会員増減 +2



石原 功三 (市川東RC)
 逝去日：2009年4月1日 (享年76歳)
 入会日：1977年1月1日
 ローターリ-暦
 1996-1997年 会長

5月のロータリーレート

98円

夢をかたちに



2008-09年度国際ロータリー会長

李 東建 (D.K.Lee)

会員目標

2009年3月31日までに1名の会員増強を達成する
{推奨目標：10%の会員増強}



2008-09年度国際ロータリー第2790地区ガバナー

崎山 征雄

ロータリーの心と原点を今見つめなおして
「招き猫」に託す会員増強の願い

ガバナー事務所

〒275-0011 習志野市大久保4-3-8

TEL 047-477-2401 FAX 047-477-2407

Email 08-09gov@rid2790.jp